

令和7年度東京都・羽村市・日の出町合同総合防災訓練に 展示参加しました

令和7年度東京都・羽村市・日の出町合同総合防災訓練が8月31日(日)に、羽村市宮の下運動公園、日の出町民グラウンドほかの会場で開催され、緊急地震速報利用者協議会は（一財）気象業務支援センターとの共同事業として、日の出町民グラウンドで開催された展示・体験訓練に、会員の皆様に協力頂き参加しました。

今回の訓練では、「行政及び各防災機関の実践的な訓練による災害対応能力の向上」や「都民の訓練参加を通じた防災意識の向上」を目的に、「公助」を担う各防災機関や行政が一丸となった災害対応能力向上に向けた訓練、住民個々の「自助」や地域での「共助」の関心を高める都民参加型及び都民の安心感醸成に資する訓練、また能登半島地震を踏まえた孤立地域の発生を想定した訓練、などが実施されました。

今年の開催は、異常な暑さが予測される中での開催となり、熱中症など体調不良時の対応マニュアルの準備、配布や、救護所の設置、緊急搬送体制の確保など万全の準備を整え、13時に開始されました。当日は最寄りの青梅アメダス観測所で37℃、ほぼ快晴の猛暑の中でのイベントとなり、十分な水分補給など熱中症対策にも注意する中での展示訓練となりました。

来場者とは「暑いですね」のあいさつに始まり、「この音知ってます。嫌なやつ。」といった話に、同じ緊急地震速報でも、受け取るツールでの速さの違いや、警報・予報の違いなど、会員の皆さんには、やさしく丁寧に説明してもらいました。「緊急地震速報利用の手引き」は、ここ数年の経験からやや足りなくなる100部を持参しましたが、あまりの暑さに、来場者が例年に比べ少なかったようで、20部ほどが余ってしまったものの、来場頂いた皆さんには緊急地震速報を今まで以上に正しく理解して貰えたものと感じています。



【写真】展示、説明風景

非常に暑い中、今回ご協力を頂いた会員の(株)ANET様、(株)センチュリー様、明星電気(株)様には、深く御礼申し上げます。